

関係者各位

株式会社日本F4協会

2024 JAF 国内競技車両規則第1編 第9章 Formula Beat (F-Be) 規定の変更について  
～第一世代 FIA-F4 マシンによる参戦も可能に～

表記の2024年 Formula Beat (F-Be) 車両規則の車体部分において、規制緩和変更された項目があります。この変更等についてお知らせします。

第11条. 9. 2) 側面防護体

2022年 FIA 国際競技規則付則J項「ARTICLE274 FORMULA4 - 1st GEN TECHNICAL REGULATIONS」の基準を満たし、FIA の承認を受けているサバイバルセルを持つ車両はこの側面防護体を備えなくても良い。上記のとおり変更されました。これにより第1世代 FIA-F4 のモノコックシャーシを利用して F-Be 車両を製作する場合、側面防護体を備える必要がなくなりました。これは特定の車両への緩和ではなく、該当する車両すべてに適用されます。

2023年まで開催の FIA-F4 日本選手権 第一世代指定車両(童夢社製 F110)があります。これを F-Be 車両規則に適合させることで F-Be レースに参加することができます。

第2条. 2. 5) フラットボトム規定を満足することで、F-Be 車両規則に適合します。

また、エンジンのパワーアップや LSD 装着も可能となり、供給の用意が進んでおります。

F110 を改造利用した F-Be 車両 (F110 改) にて F-Be レースに参加される事を歓迎します。また、F-Be レースでは車両規則の適合した高性能を目指した改造を推奨しています。物づくりで、より高性能な車両を目指してください。

F110 に関する情報を紹介します。

F110 の部品供給については以下の通りです。

車体：株式会社童夢

エンジン：株式会社トムス 担当窓口 前田 0550-89-8347

トランスミッション：株式会社戸田レーシング 担当窓口 大塚 0866-83-1202

F-Be 車両規則の適合化業務(フラットボトム適合化への改造)

フラットボトムへの加工は容易です。また、この改造を容易にオリジナル状態に戻す事も可能です。

加工は各自で行っていただけますが、F4 協会から対応いただける工場のご紹介も可能です。

お気軽にお問い合わせください。

※適合業務関連の加工・販売を頂ける業者は随時募集しています。F4 協会までお申し出ください。

現在、F110 改、JAF-F4 の第1世代車両を含む同等車両に対して、クラス分けにて表彰する準備を進めています。F-Be レースでワンメイクレースでは味わえない、物づくりやチーム力、エンジニア力を集結させた戦いをお楽しみください。

お問合せ先：日本 F4 協会 Formula Beat 事務局 [info@formula-beat.com](mailto:info@formula-beat.com)

Web サイト：<https://formula-beat.com/>



以上